

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成12年度		根拠法令・規程等 過疎計画、新市まちづくり計画	
総合計画	大項目	基本目標	05		住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	01		住民主体で進めるまちづくり
	小項目	施策	02		コミュニティ コミュニティ活動の推進
事務事業名		04	コミュニティ施設整備事業		
		担当課(室)	日生総合支所 市民窓口課		
		職・氏名	課長補佐 坂本基道		
		電話	0869-72-1102		

事業の実施		大西町内会
対象(誰・何に対して)		
目的(何のために)	良好な生活環境と心豊かな地域づくりを目指し、コミュニティ活動を推進するために施設の整備を図る。	
行政活動(どのような方法で)	高齢化社会に対応したバリアフリー化した平屋を建設	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地区住民の避難場所として、また地域コミュニティ活動の拠点整備を図った。	

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
竹ノ内、中日生会館(15~16)	件				
川向会館(17~18)	件	1			
梅瀬会館(18)	件		1		
東新田会館(19)	件			1	
大西会館(20)	件				1
事業費					
直接事業費	千円	74,362	23,301	31,568	
必要人員人件費		0.35人	0.30人	0.29人	
事業費計	千円	77,727	26,268	33,822	
財源					
国・県支出金	千円				
受益者負担金		13,450	4,376	5,007	
繰入金	千円	44,500	18,000	25,900	
その他( )					
一般財源		19,777	3,892	2,915	
受益者負担比率	%	17.3%	16.7%	14.8%	

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	会館整備累計件数	説明			
	結果指標量	件	6	7	8
	対前年対比	%	-	116.7%	114.3%
	活動コスト	円	77,727	26,268	33,822
結果指標②	単位当たりコスト	円	12,955	3,753	4,228
	結果指標量	-			
	対前年対比	%			
	活動コスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
会館整備率	目標値(A)	6	7	8	9
	実績値(B)	6	7	8	到達目標年度
	達成率(B/A)	100%	100%	100%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
平成12年度から年次的に整備、平成21年度までの累計目標を9件としているので、累計件数/9×100とし、整備状況を示す。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		A
妥当性の評価	市の関与の妥当性	判定理由・課題認識		
		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 受益者負担の準備をしている。			地元要望を踏まえ、平成21年度までに9地区の施設について過疎債による整備を順次行っており、用地取得、会館使用等については、地元と充分協議しながら進めている。
	効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
目的達成度			市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている

平成21年度の状況		9	結果指標量②	成果指標量	100%
目標値	結果指標量①				
状況	拡充		現状継続	見直し	縮小
			○		
説明	21年度は、スワ会館の新築を予定しており、地元とは継続的に協議を行ってきている。				

総合評価		評価区分<A~E>	A
過疎計画、新市まちづくり計画に基づき、町内会等との調整を行いながら計画の実施に努めており、平成21年度実施分で本事業は終結する。		妥当性 有効性 効率性	

平成22年度以降の方向性・内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性								○
説明	平成21年度において全ての整備計画が完了する。							
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果				